

論文概略

論文タイトル	Impact of Michelangelo prosthetic hand: Findings from a crossover longitudinal study	
掲載誌名	Journal of Rehabilitation Research and Development	
巻号項	Volume 52	Number 5 Page 605
出版年	2015 年	
支援機器	Multigrip michelangelo prosthetic	
分類(ISO9999)	6	
試験相	2	
研究仮説 (目的) の概要	手先の器用さとADL実行の容易さの改善と共に社会的相互作用とより大きな満足感の改善が得られる	
研究デザイン	群内比較 (クロスオーバー)	
障害・疾患	切断	
対象者・数	障害者6人 (男性、経橈骨動脈レベルの切断)	
主要アウトカム	SHAP、BBT、MMDT、DASH	
副次アウトカム1	HADS	
副次アウトカム2	ABIS	
副次アウトカム3	EuroQol アンケート	
副次アウトカム4		
副次アウトカム5		
統計学的検定	有	
結果の概要	M 義手を使用後3か月で機能評価改善が得られた。外観もよく、抗うつ症状を示さなかった。	
論文整理番号	158	※正確な情報が必要な場合には、元の論文を確認してください。

「支援機器の臨床評価および利用効果データベース」
支援機器イノベーション創出のための情報基盤構築に関する研究
(H26～28 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 障害者対策総合研究開発事業)

国立障害者リハビリテーションセンター